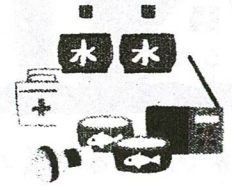


火の始末

・大きな揺れの時は、火を消すことは困難です。揺れがおさまるのを待ってから消しましょう。

※いざと言うときに慌てないために、以下の事にも、対策していきましょう。

- ◎家具類の転倒、落下防止。
- ◎ガラスの飛散防止(フィルムを貼る等)。
- ◎懐中電灯やスリッパ(散乱物で怪我をしないように)を身近に準備しておく。
- ◎消火器や風呂の水のくみ置きをしておく。
- ◎『非常持ち出し品』リュック等に避難時に必要な物をまとめて目の付きやすいところに置いておく(持病の薬も忘れずに)。
- ◎『非常備蓄品』1人3日分程度の食料、飲料水(1人1日3ℓ目安)、簡易ガスコンロ等を備えておく。



これらの他にも家族の勤め先や学校、親戚の連絡先を家の中の見やすいところに貼ったり、普段から家族で話し合い、それぞれの役割分担や、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所を決めることも大事です。

シェイクアウト訓練

①指定された日時に②地震から身を守る安全行動を③それぞれ自分のいる場所で④1～2分程度一斉に行う訓練です。

奈良県でも多くの企業や団体が参加しています。それぞれの職場でやってみてもいいですね。

もしもの時の安全確保行動 1-2-3『まず低く、頭を守り、動かない』まずはこの動作を覚えましょう。

